

戸沢ひろゆき議員の一般質問

あきる野農業振興こそ「郷土のめぐみ」!!



連絡先 558-9721

3月9日から始まった3月市議会の一般質問で、日本共産党の戸沢ひろゆき議員は、昨年の9月議会に続いて、秋川ファーマーズセンターの改造計画について、旧秋川高校校舎と寮をブルドーザーで更地にし、グリーン植物工場等・産業誘致を進めようとしている課題、秋川3丁目にオープンする温浴施設問題を取り上げ質問しました。

秋川ファーマーズセンター改築 財政的展望を提案

戸沢議員は63haもの農地をもつ秋留台地には、あきる野市の地場産業として、光を当てるべきだと主張。そのために新鮮で安全な少数多品目の野菜や花卉の販売と、農家と消費者のコミュニティの「場」としてファーマーズセンターを改修する時が来ていると力説。さらに「道の駅」とは違い、農林水産省に強く交渉すれば2分の1の、東京都からは4分の1の補助金が得られる。またファーマーズセンターの運営による余剰金をこれまでに930万円改築のために積み立てていることを確認しました。こうしたお金を使えば改築の見通しは立てられるはずだと提案しました。戸沢議員は市長に対して、「環境都市あきる野」における農業の位置づけについて質問しましたが、市長は質問通告がないという理由で回答を拒否しました。市長に代わって答弁に立った担当部長は、今後あきる野市の地産地消を推進するために、消費者や農業者の意見を聞き、時代にふさわしいファーマーズセンターの将来像を作り上げていきたいと回答しました。戸沢議員は、建設を前に進める立場で努力して欲しいと要求し、質問を結びました。



盛況な秋川ファーマーズセンター



マタセコイア並木を残して更地になった旧秋川高校跡地

秋川高校跡地 植物工場の誘致について

旧秋川高校周辺地区土地利用検討委員会の報告書に、グリーン産業として植物工場誘致の検討報告がされている問題について質問しました。市からの回答では、「庁内の戦略チームで検討している」と回答。

戸沢議員は、植物工場の調査・研究の中身を報告。LEDの熱ではレタスぐらいしか出来ないこと。太陽光に勝るものはないとし、地元の秋留台地、上の台の農地の活用こそ必要だと強調しました。

秋川駅北口と武蔵引田駅に接続したまちづくり計画は、秋川駅北口のアパート入居状況のみでも、産業系企業が進出して人口が増えたり市内の「活性化」を図ることはできないと訴えました。

秋川3丁目温浴施設 交通・防音対策等について

戸沢議員は、営業開始が目のいま、施設が起こす騒音、利用者の車の乗り入れによる交通騒音、交通事故などに対する対策、進入アクセス道路の指定、信号機の設置、横断歩道の色分けの必要性を訴えました。市は、騒音対策は地域住民の要望を踏まえながら施設と駐車場の側面から対策を行う、機械室内壁面に防音材をつけ、高さ5mの防音壁を設置する、低騒音型の舗装にする、アイドリングストップの看板を立てると回答しました。

環境保全条例の観点から、地域住民の健康と生活環境の保全を図るため、市と設置者による協定を結ぶと回答しました。戸沢議員は、郵便局の交差点に信号の設置、まちづくりの観点から、進入アクセス案内と案内看板をきらび

やかな看板にしないよう求めました。



左側が市営住宅 右側が温浴施設

日本共産党 jcp-akiruno.com/
あきる野市議団ニュース

162号 2010・4・11 Tel・Fax 558-1134

日本共産党あきる野市議団は以上の見解を発表しました。市民のみなさんの御意見をお聞かせください。

現在、市議会の模様を動画配信中です。ぜひ、アクセスしてみてください。

— 法律相談 —

4月22日(木)午後1時半～3時
予約が必要です。市議団までご連絡ください。